

そよかぜ 4月 園便り

令和3年4月1日(金)

西東京市立そよかぜ保育園

入園、進級 おめでとうございます。

27名の新入園児と、91名の進級児。併せて118名の子どもたちと共に新年度のスタートです。少子化の波はすぐ近くまでやって来ているようですが、ありがたいことにそよかぜ保育園は欠員もなく、今年度も賑やかに幕を開けました。

まずは新しい環境に慣れることから保育園生活が始まります。

新しいお部屋、一緒に過ごす大人。今年度はパート職員を含め、全クラス持ち上がりの職員がいるので、まずはそこを基地にして少しずつ行動範囲を広げ、新しいクラスが「安心できる自分の居場所」になっていくと良いなと思っています。

- ♪ぽかぽか春が やって来た…… ニコニコ笑顔で言いました タイトル:「春」
- ♪竹の子ずんずんおおきくなって 「竹の子」
- ♪お窓をトントン ほらね たたいているよ 「風さんだって」
- ♪あめ あめあめ ザッザザー 「ざあざああめ」
- ♪ぽつつんつん ぽつつんつん 「ぽつつんつん」
- ♪雨だれぽったんぽったんたん 「雨だれポッタン」

保育園ではたくさん歌をうたいます。子どもたちは歌が大好きで、上記はほんの一部ですが春先から梅雨にかけてよくうたっている歌です。

そよかぜ保育園でうたっている歌は、保護者の方があまり耳にしたことのないものも多いかもしれません。「子どもにはちょっと難しいんじゃないかしら」「“チューリップ”や“ぞうさん”のような皆知っている歌をうたえば良いのに…」などの声も聞こえてきそうですが、これについては次回お話させていただきますね。

今回はこれらの歌に出てくる太字にした部分の表現について触れてみたいと思います。

皆さんは「オノマトペ」という言葉を聞いたことがありますか。上記の歌の太字にしてある部分はいずれも「オノマトペ」で表現されています。

動物の鳴き声や物音、自然が出す音を表した表現を『擬音語(擬声語)』、物事(自然や物)の状態、気持ち・感情を表す表現を『擬態語』と言いますが、それらを総称したものが「オノマトペ」です。この表現が入っただけで、情景・状況・感情・感触までもがイメージできますよね。またどの表現もリズムが良く、頭と心にスッと入ってきませんか。

子どもたちがこれらの歌が好きな理由にはこの「オノマトペ」の存在も大きいのではないかと思います。

「オノマトペ」に興味を持たれた方は、「オノマトペの達人」と称される宮沢賢治の作品を読んでみてください。どの作品にも「オノマトペ」が出てきて、それも賢治独特の表現も多く、きっと楽しめると思います。

子どもたちの楽しい「オノマトペ」が溢れる1年になりますように！

4月 園行事

1日(金) 入園・進級を祝う会

13日(水) 布団乾燥

26日(火) 誕生会/避難訓練

職員紹介

※ 配布した園便りにのみ記載しております。

.....

< 年間行事予定 >

4月 1日 (金) 入園・進級を祝う会	11月 26日 (土) 親子遊ぼう会
5月 12日 (木) 鯉つかみ	12月 10日 (土) 餅つき会
6月 11日 (土) 親子遊ぼう会	12月 23日 (金) クリスマス会
7月 7日 (木) 七夕の会	1月 11日 (水) 鏡開き
7月 15日 (金) 夏祭り	1月 28日 (土) 親子リズム会
9月 9日 (金) お月見会	3月 11日 (土) 卒園式
10月 15日 (土) 運動会	毎月：計測、誕生会、避難訓練
10月 31日 (月) 鯉祭り	

※ は、保護者参加行事です。

.....

HPのお知らせ

今年度も引き続き毎週金曜日を目安に、ホームページ内 Blog にて園の情報を掲載していきます。園内掲示と共に HP を通して他クラスの育ちも感じていただけたらと考えておりますので是非ご覧ください。

新しいお友達を迎え、気持ちも新たに令和4年度の船出です。よろしくお願いします。

食べる事は生きる事 「まごわやさしい」 和食の取り組みについて

「美味しそう！」と口に運ぶ時 空腹を満たすために取敢えず何かを口にすると 家族揃ってお友達と一緒に 一人で・・・等 食べることは生きることそのものです。

食文化は大きく様変わりしました。居ながらにして世界各国の食物を口にすることが出来ます。子ども達の食事の実態を見ても、パン食や、高脂質で炭水化物が好まれてます。忙しい毎日ですから、手軽に食べられる物に頼りがちです。特に朝は眠い目をこすりながらパンに牛乳等で済ませて登園されるお友達も多くいることでしょう。令和3年秋から朝のおやつに野菜やおにぎりなどを提供し、午前中の活動を豊かにする取り組みしてきました。令和4年度は、法人が大事にしてきた「食べる」ことを充実させることにしました。安全・安心な食を提供するために、各園の給食を「和食」に切り替えていきます。雑穀米を取り入れ、海藻・根菜類・豆等を今以上に多く取り入れ、先人たちが作ってきた「日本の食」を子どもたちに伝えていこうと考えています。

「何をどのように選んだら良いか?」「四季折々の旬の味を楽しむには?」「農薬や添加物を使っていない食材を選ぶには?」等沢山の課題がありますが、保育園だから取り組めると考えております。これまで以上に味噌 醤油・砂糖等の基本調味料の旨味を活かし、昆布を中心とした出汁で素材の味を引き出した給食にしていきたいと考えております。

幼い頃 慣れ親しんだ「食=味」は 一生の宝物です。健康に生きる礎と言っても過言ではありません。保育園で乳児期から過ごす子どもたちに「健康な身体と心」を育む給食を追求していきます。各園の給食は一層美味しくなります。

美味しいご飯をたくさん食べて 大きくなーれ!

まごわやさしい
めいまいかめいかないたけいも

職員のつぶやき

この時期に思う事 (大家族のような保育園)

毎年、3月/4月はとても嬉しいことがあります。

卒園して巣立っていった子どもたちが小学校入学/卒業・中学校入学・卒業/高校入学・卒業・・・。
そして「就職が決まったから。」「懐かしくて立ち寄ったよ」等々。顔を見せに会いに来てくれます。勿論、保護者の方も一緒に来てくれます。

小さかった時の面影を残しつつ大きくなっている子、「えー誰だろう?」というくらい面影がなく、驚いてしまうこともあります。しかし、小さかった頃のみんなをまた思い出すことが出来、一緒にその時の事を保護者の方と語ったり、今後の未来について子どもたちと話して楽しく過ごせる時間がとても幸せな気持ちになります。当然、“ハグ”をしてお互いに心を通わせて次へのステージへのエールを送り、また会える日を楽しみにします。

また、20歳になった成人式の写真も送ってくれます。そして今年は驚いた事に青梅七福神巡りで10年前に巣立った家族(現在24歳・20歳)に出会いました。保育園当時の事を懐かしみながら巡っていたと話が聞き、保育園で行っていた活動が繋がっている事に改めて嬉しく、いつでも帰って来れる保育園としてこれからもありたいと思うのです。

保育士になり、たつの子に勤めて今年度で28年目(?) 巣立っていった子どもたちの成長がこの仕事を通して1番のやりがいなのかもしれないとこの時期は最も思う事。

今年度も一年が始まります。未来の子どもたちの姿を思い描き、新たな目の前の子どもたちと向き合い、楽しく笑顔あふれる日々を過ごしていきたいと思えます。

羽村たつの子保育園 良 鈴子